

教育研修

日時 :平成29年04月25日(木)17時10分～17時50分

場所 :新王子病院 4階会議室A

内容 :不明熱の鑑別に苦慮した透析患者の1例

製鉄記念八幡病院 腎センター部長 柳田太平先生

繰り返す感染症と入院当初からの発熱が見られ血液培養、CT等様々な検査と透析条件の変更等も行ったが不明熱のフォーカスは不明であった。

透析アミロイドーシス患者の14.3%に熱発が見られる事からプレドニン15mg投与が開始となった。2週間後CRP、ESRは正常化した。不明熱の定義、不明熱が見られる三大原因。稀に見られる不明熱の頻度が高い疾患、透析患者の特殊性透析アミロイドーシスの危険因子等の講義を聴き、改めて透析アミロイドーシスの怖さと至適透析の重要性が再認識できました。

